

## 第6回 沖縄県 U-40 設計競技 ティードフラッグス 2017 審査講評

県内の若手建築家を対象とするコンペも6回目を迎え、今回は、19の力作が提案されました。次世代を担う若い建築家の皆様方からの大きな支持が広がっていることを実感し、心からうれしく思います。

いずれの作品も課題に対する提案が明快かつユニークな内容であり、若手らしい斬新なアイデアと建築に対する真摯な取組みが強く感じられる優れた内容でした。そうした中から一次審査では、課題に対する実施案としての将来性、さらにはプランの表現等を審査員で熟議し、7作品を最終審査の対象としました。

最終審査では、公開でのプレゼンテーションとヒアリングを実施、審査員による公開での投票の結果、金賞（作品番号18）、銀賞（作品番号9）、銅賞（作品番号16、作品番号19）の4作品を選出しました。

金賞の作品は、細かいディテールまで検討された実現可能性の高いデザインと、的確なプレゼンが高く評価された作品でした。

銀賞の作品は、意匠のコンセプトがわかりやすく、繊細で沖縄らしいデザインが評価されました。

銅賞（作品番号16）の作品は、無理のない洗練された形状である点や、コストや景観への配慮が評価されました。

銅賞（作品番号19）の作品は、バスからの視線に着想したコンセプトや、無駄を省いたシンプルな形状である点が評価されました。

以上が審査概要ですが、今回も公開プレゼンには大勢の聴衆の参集を賜り、沖縄建築界の躍動する将来を感じさせるコンペとなりました事は、大きな成果といえましょう。本事業に参加された皆様、そして事業を推進された沖縄県、並びに沖縄県建築士会に感謝すると共に、沖縄建築の益々の発展を期待します。

選考委員長 伊礼 智（有限会社伊礼智設計室 代表取締役）

